

K-Person

南 流石

みなみ・さすが 振付師。鎌倉市で生まれる。 幼少期から、モダン、クラシッ ク、ジャズ、アクロパットなど さまざまなジャンルのダンスに いそしみ、16歳で指導者に、プ ロダンサーとして活躍の一方、 ジャンルを超えたオリジナルダ ンスの確立を目指し、注目を集 める。

ンスの確立を目指し、注目を集める。 める。 その後、数多くのCMやアーティストに振り付け演出を提供し 現在に至る。 現在、乳幼児から高齢者を対象 にモーションプログラムの展開 をしている。

見 緒 せ に る 楽 踊 L ŋ 2

か

6

のでなく、一緒に参加するものにしたか れる幸福感は、どんなに大きなステージ やりとりしながら一緒に動くことで得ら った」と語る。そこにいる子どもたちと しめる内容になっている。 この変化について、「踊りを見せるも

いる意味を知りたい、との思いもあった。 に立つことよりも勝るという。 そして、もう一つ。自分が踊り続けて

外で流行しているものばかりだった。「ど わるのは、もともと存在するものや、海 親子で一緒にやったり、すてきな時間に とれるように考えている。きょうだいや 的に仕事をしてきたが、ターゲットは主 付師として独り立ちした。 なら自分で作ろうと」。20歳ごろから振 うしてもオリジナルをやりたくて。それ なればいいなと思ってます」 踊るのと同時に、コミュニケーションも ーシャル。いろいろな対象に向けて精力 アイドルやアーティスト、テレビコマ 踊りを始めたのは3歳から。だが、教 れている。 がとっても 動をするの

ナガワン」も、幼児から高齢者までが楽 歳から100歳まで」に変わった。「カ 訪れた。医師と組んで、高齢者が対象の に若者だった。 だが2010年に転機が ノログラムを作ったのだ。 これを契機に、自らのコンセプトが「0

さんにとって、とても大切なテーマなのだ。おった、一角ではあまりない。だが、流石行為は、日常ではあまりない。だが、流石行為は、日常ではあまりない。だが、流石行為は、日常ではあまりなりを抱きしめるという。 想以上。プラスのオーラが出ているというが、やっぱりそうだった。というより、予が、やっぱりそうだった。というより、予 ひしひしと伝わってきて、ものすごく頼も通して人々を優しくしたい」という思いがのか、話していると、流石さんの「踊りを しく見えた。

これだけで涙ぐむ高齢者もいるという。の中で自分の体にがんばったね、と言う。なと思った」。体を揺らして目を閉じて、心と思った」。体を揺らして目を閉じて、心と思った」。 きることにつながる。 自分に優しくできることが、人に優しくで 組「みぶりてれび」=写真=に出演し、 して出身地である神奈川への愛を込めた もを中心にこの作品を指導。そしてこと を振り付けた。その後、県内各地で子ど ソング&ダンス「カモン!カナガワン」 し4月から、同局で始まった平日朝の番 昨年4月、tvkの開局40周年を記念

ಠ್ಠ まった時間 的にも、決 を伝えてい に一定の運 脳科学 とができる。「世界中の人が優しくなれ ばいいな。本気でそう思う。踊りを楽し

踊る楽しさ

をつないだり、多くの思いやりを生むこ 隣の人に合わせたり、遅れている人と手

(B) いだけで終わらせたくない」 贯 **B**

1

さらにパワーアップし、店をはしごをし 訪れ、江ノ電の駅から島に渡るまでにい どものころ、週末ごとに父親と江の島を !」と力強く言い切るのが「射的」。子 だが、景品には執着しない。「全然、 人だもん」。魅力は、集中するところ。 て「(お金を)めっちゃ使う。だって大 くつもある射的の店で楽しんだ。現在は ごいのを取っていない」と苦笑い。 「あたしが地元で一番行ってると思う

生かしたいと思った」と熱く語る。

優しい人になってほしい」ということ。しくなりたい」であり、「みんなにも、 だと思う。この意味を、最大限に広げて いる。それって絶対に何か意味があるの 「幼少のころから、もう50年以上続けて 踊りに込めている思いは、「自分が優

